

奈良県観光戦略本部 平城宮跡周辺エリア部会（第2回）

1. 第1回部会の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2. 本日、ご意見を頂きたい内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3. 今後のすすめ方（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

令和6年10月8日（火）

1. 第1回部会時における委員のご意見（まとめ）

■ 「これまでの経緯」「平城宮跡周辺エリア部会」「平城宮跡周辺エリアの現状」について

- ① はじまりの奈良、**食のはじまりも奈良。食の集積地**とか、日本を発信する場となると面白い。
- ② **奈良県の事業者**は、奈良に根付いて、**奈良の歴史文化を語れる方が多い**。平城宮跡周辺エリアで、このような事業者をうまく活用できるとよい。
- ③ 人を集めるには、**居心地が良く、交流・つながりが生まれる場所（サードプレイス）を創る**のが大事。コンセプトが明確でないと、そこに来る理由が生まれない。そこを考えることが重要。
- ④ 平城宮跡周辺エリアの立地はすごくいい。**日本最強のコンセプトを持っている土地**なので、それをどういった言い方や使い方をしていくのかということがポイントになってくる。
- ⑤ **ストーリーの上**に、活動や施設が乗っかっていないといけない。
- ⑥ 平城宮跡に設けられる訴求力・吸引力があるものが、県外から持ち込まれたものであれば、結局、奈良の地域経済循環、観光GDPの増大には繋がらない。
- ⑦ 伊勢神宮とおかげ横丁、浅草寺境内と仲見世のように、**聖と俗、コンテンツとそれに付随するものを対比**させる考え方もある。**俗が、観光地としての集客率を上げる**。

■ 「県営公園区域（検討対象区域）に求められる要素・方向性（案）」について

- ① **新しいことへのチャレンジする場所**であった、何かを創造する場所であったという平城宮の時代の核心を引き継ぐ場所としてはどうか。
- ② **新しいことをクリエイトしていく場**であったという特性があると考えている。**この特性を現代版に解釈してブランド化**して打ち出していく考えもあっていい。

■ 「今後の進め方（案）」について

- ① せっかく本部会には様々な分野の専門家が集っているのだから、ワーキングメンバーとして**本部会がアイデアを出す**ことをミッションとしていきたい。
- ② **2回目の部会は、各委員でアイデアを持ち寄り**、その意見を全員で確認したうえで意見交換するような進め方をしたい。

2. 本日、ご意見を頂きたい内容

- 平城宮跡の全体的な印象
- 平城宮跡に多くの人を訪れるようになるためには
(人が多く訪れる奈良公園周辺との比較)
 - ・ 平城宮跡のあり方 (質的イメージ)
 - ・ 平城宮跡のあり方を実現するために必要な施策 (アイデア)

3. 今後のすすめ方（案）

1st ラウンド

(第1回： 9/9)

第1回：平城宮跡の特性、あり方、事業手法、今後の進め方について**意見交換**



部会での アイデア出し

2nd ラウンド

(第2回： 10/8)

(第3回： 12/16)

(第4回： 2月頃)

第2回：部会委員からのアイデア出し

- 平城宮跡の全体的な印象
- 平城宮跡に多くの人を訪れるようになるためには
(人が多く訪れる奈良公園周辺との比較)
 - ・平城宮跡のあり方（質的イメージ）
 - ・平城宮跡のあり方を実現するために必要な施策（アイデア）

第3回：平城宮跡のあり方（案）

第4回：平城宮跡のあり方、事業手法（案）及び事業者選定条件（案）



3rd ラウンド

(第5回：3月頃)

平城宮跡のあり方（構想、コンセプト、導入機能、役割分担、民間活力導入エリア）、事業手法及び事業者選定条件のとりまとめ

R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度～
部会	事業者選定	事業スタート	